

2012年2月17日

第1回

野洲市新病院整備可能性検討委員会

野洲市

政策調整部企画調整課

(587-6039)

経緯

平成23年4月

御上会の『新病院基本構想2010』を受理

平成23年5月

野洲市地域医療における中核的医療機関のあり方
検討委員会を設置

平成23年10月

同委員会より提言

御上会の『新病院基本構想2010』を中間評価

平成23年11月

課題等を御上会と担当者レベルで確認

平成24年1月

御上会の『新病院基本構想2010』について回答

平成24年2月

第1回野洲市新病院整備可能性検討委員会の開催

提言について

提言日 平成23年10月5日

提言書 『野洲市地域医療における中核的医療機関のあり方に関する提言書』

- 概 要
- ・ 周辺地域の病院や診療所等との**役割の違いを明確**にした上で、市内に**一定の役割を担う病院は必要**である。
 - ・ ただし、新病院を整備し病院運営を維持するために、**市民が市税等を投入する覚悟が必要**である。
 - ・ 病院機能や診療科などについては、新病院を整備する場合に、より詳細な検討が必要である。

御上会からの提案と市の回答

提案日 平成23年4月11日

概要

- ・野洲市の地域医療を安定的に支えていくためには、病院施設の新築と設備の充実が必須とのことから、**市が新病院発足のための土地建物と高額医療機器を調達し、野洲病院が使用貸借**することで実現しようと計画。

回答日 平成24年1月16日

概要

- ・野洲病院が提案した構想を総合的に評価した結果、基本コンセプトなど**医療サービスに対する基本的な考え方は一致**しているものの、**運営形態などについて課題**があり、**同構想は採用し難いと判断**した。
- ・市は今後、市民への**医療サービス提供のあり方**を考え、検討委員会から提言のあった**新病院の整備も含めた検討**を引き続き行う。

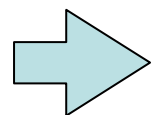
検討委員会の役割と課題整理

◎検討委員会の設置目的

- 今後の市民への医療サービス提供のあり方の検討
- 必要とされる病院機能や診療科など病院像を具体化し、**新病院整備の可能性**について検討

◎検討課題

- **病院の必要性**について再確認
- 必要と考えられる**病院像の具体化**
- 市が提案する新病院の立地場所と運営形態の検証
- 持続可能な病院経営となるかの検証
- 市が新病院を整備した場合の費用と運営した場合の収支シミュレーションの検証



市民が新病院を整備すべきかどうかを判断

●検討スケジュール

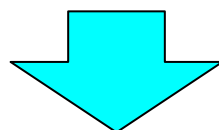
- ・ 第1回 検討委員会 課題整理など 【2月17日(金)】
- ・ 第2回 検討委員会 病院像の具体化 【4月10日(火)】 <予定>
- ・ 第3回 検討委員会 病院像の具体化 【5月上旬】 ×
<検討の進捗によって調整>
- ・ 市民懇談会 (市主催) 意見交換 【6月上旬】 【5月中旬】
- ・ 第4回 検討委員会 検討のまとめ 【6月中旬】
- ・ 第5回 検討委員会 検討のまとめ 【7月中旬】
<検討の進捗によって調整>

7月までに提言

病院の必要性について <提言書から>

- ・ 野洲市を含む湖南保健医療圏で病床数が充実していることや、市内に多くの診療所が開業されていることを考慮すれば、**一定の医療機能は確保**されている。
- ・ したがって、**市内に病院がなかったとしても**、周辺地域の病院等を利用することで、**必要な医療サービスを市民が受けることは可能**である。

しかし…



- ・ 市民にとっては、**安心して生活できる**という精神的な支えになっている。
- ・ 市民の高齢化を想定し、**将来への備え**として在宅医療を進めていく上で、市内の医療機関との連携や広域的な医療圏から見た役割分担の観点から「**一定の役割を担う病院**」は必要である。

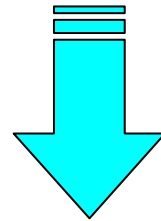
病院像の具体化について <提言書から>

◎病院の役割・機能

- 超急性期医療と自宅療養の中間的役割
- 在宅医療を支える後方支援的役割

<注意点>

- ・ 採算が取れた病院経営が困難となる可能性がある。
- ・ 医療スタッフの確保が困難となる可能性がある。



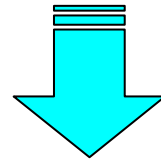
回復期医療と在宅医療の後方支援機能を重視した一般急性期病院を目指し、特定の診療科について先駆的で魅力ある医療を実現

◎診療科

- 市民の立場では、多くの診療科が備わると理想的
- 医療スタッフの確保、収益性、継続性を考慮
- **病院と診療所との差別化**が図れるかという視点

<注意点>

- ・ 現状も大切であるが、少し長期的な視点で検討する必要がある。



- ①内科 ②小児科 ③外科 ④整形外科
⑤産婦人科⑥眼科 ⑦リハビリテーション科
⑧泌尿器科⑨人工透析

* 現在の野洲病院と比較すると、耳鼻咽喉科・皮膚科・脳神経外科を周辺医療機関で代替。

◎救急医療

- 病院を持つための意義として、二次救急への対応は最低限必要である。

◎病床数

- 目指すべき病院の機能と建設費用も含めた経営の効率性の観点から総合的に判断すべきである。

◎病院の立地場所

- 「野洲駅周辺」又は「郊外」への立地については、それぞれ一長一短あり、また用地確保などの現実的な問題もあるので市が主体的に提案すべきである。

◎運営形態

- 「市が直接運営する場合」と「民間に運営を委託する場合」の利点と課題を整理して、市が主体的に提案すべきである。

本日の検討課題

◎病院の必要性について再確認

- 広域的な医療連携及び機能分化の観点
- 市民が安心して生活できるという観点
- 将来への備え(在宅医療の推進)が必要という観点

◎病院像を具体化していく上での確認

《次回の委員会で具体的な病院像(事務局案)を提示するため》

- 病院の役割・機能
- 必要とされる診療科
- 救急医療や病床数 など

《その他注意すべき点として…》

- **持続可能な病院経営**ができること
- 野洲病院が持つ医療資源を有効活用すること
- 優秀な医療スタッフが魅力を感じる病院とすること